

「時と分」が同時に点滅している場合、12時間制表示と24時間制表示を切り替えます。12時間制表示のときはマーク無し（午前）または「PM」（午後）マークで午前、午後が表示されます。24時間制表示のときは「24H」マークが表示されます。

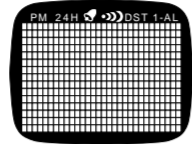
都市名とその時差については「都市名と時差について」をご参照ください。

合わせ終わったら、ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示に戻してください。

秒合わせ（秒）を点滅させ時報に合わせてボタン(D)を押すと、00秒に合います。(秒)が30～59までのときは(分)が1分くり上がって00秒に合います。

<全点灯表示>

時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタン(C)とボタン(D)が同時に押された状態です。その場合は、ボタン(A)、(C)、(D)のいずれかを押して、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。つぎあらためて、上記の から合わせ直してください。



### タイマーの使い方

- 10、12、15、20、25、30分のタイマー時間がプリセットされています。
- 上記とは別に、1分単位59分までセット可能なフリータイマー機能もあります。一度セットしたタイマー時間は、何度でも呼び出して使えます。
- 計測時間（残時間）は1秒単位で表示し、タイムアップ後は自動的にカウントアップし、最大60分までの計測ができます。60分以降は0（ゼロ）に戻って計測が続きます。

タイマー時間の合わせかた

<タイマー時間をプリセットタイマーから選ぶ場合>

ボタン(A)を押してタイマー表示にしてください。

タイマーが止まっている場合は、ボタン(D)でリセットしてください。

タイマーが動いている時は、ボタン(C)で止め、ボタン(D)でリセット

タイマーが止まっているときは、ボタン(D)でリセット

ボタン(D)を押して、希望するタイマー時間を選んでください。

ボタン(D)を押すごとにタイマー時間が切り替わります。

10分 12分 15分 20分 25分 30分（以前使用のフリータイマー時間）

以前使用したフリータイマーの数値は上記の位置に残っています。プリセットタイマーと同様に選択できます。未使用の場合は、0分になっています。

<希望するタイマー時間を設定する場合>フリータイマー

ボタン(A)を押してタイマー表示にしてください。

さらにボタン(A)を2～3秒押し続け、フリータイマー合わせ状態にしてください。「分」が点滅します。

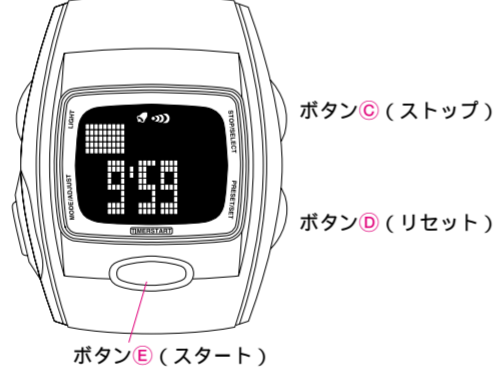


この時、プリセットタイマーの中で、合わせたい時間よりも少ない時間を選択し、「操作」を行うと合わせの操作が簡単です。たとえば、26分を設定する場合は、25分を選択してから「操作」を行ないます。この状態で1～2分間操作をしないと自動的にタイマー表示に戻ります。

ボタン(D)を押して合わせます。1回押すごとに1分ずつ多くなります。押し続けると早く進みます。合わせ終わったら、ボタン(A)を押してタイマー表示に戻してください。

タイマーの使いかた

- タイマー時間を選択または合わせてください。（「タイマー時間の合わせかた」を参照）
- ボタン(E)を押すとカウントダウンがスタートします。



タイムアップ時タイマー終了音が20秒間鳴ります。

鳴っているタイマー終了音を途中で止めるには、ボタン(A)、(B)、(C)、(D)のいずれかを押してください。この鳴り止めの操作はどの表示でも可能です。

カウントダウン中に経過を知らせる確認音が鳴ります。

5、4、3、2、1分前と、30秒、20秒、10秒、3秒、2秒、1秒前のとき。

計測中にボタン(A)で他の表示に移っても、計測はストップしません。

計測中は、ボタン(C) = ストップと、ボタン(E) = 再スタートが何回でもできます。

ストップ状態でボタン(D)を押すとリセットします。

タイムアップ後、自動的にカウントアップが始まります。

計測中にボタン(A)で他の表示に移っても、計測はストップしません。

タイマー機能を他の表示から動作させる方法《「ワンタッチタイマー機能」》

- この時計はフロントボタン（ボタン(E)）を押すことで、「タイマー表示」以外の表示でもタイマーの動作（スタート）ができます。

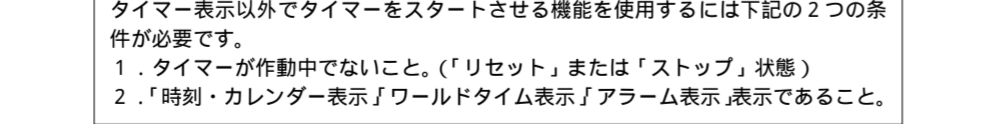
タイマー表示以外でタイマーをスタートさせる機能を使用するには下記の2つの条件が必要です。

1. タイマーが作動中でないこと。（「リセット」または「ストップ」状態）
2. 「時刻・カレンダー表示」「ワールドタイム表示」「アラーム表示」表示であること。

あらかじめ使用したいタイマー時間をセットしてください。

詳しくは「タイマー時間の合わせかた」を参照ください。

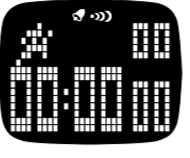
「時刻・カレンダー表示」、「ワールドタイム表示」、または「アラーム表示」にてボタン(E)を押してください。タイマーが作動し、同時に「タイマー表示」に切り替わります。



上記の条件を満たさない場合、「タイマー作動」、「表示の切り替え」は行われません。タイマーがストップ状態であった場合、上記の操作は再スタートとして作動します。

### ストップウォッチの使いかた

- 1/100秒単位で24時間までは計測します。24時間以降は0（ゼロ）に戻って計測が続きます。
- スプリット機能で途中時間を計ることが出来ます。
- ボタン(A)を押して、ストップウォッチ表示にしてください。



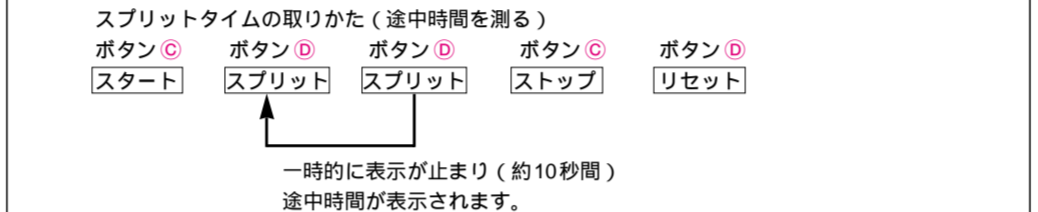
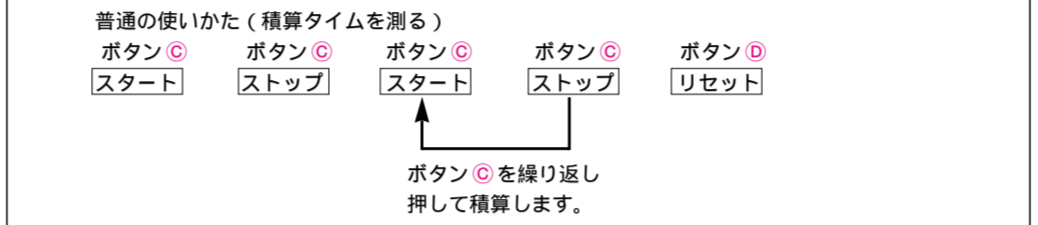
使う前に00秒に戻してください。（ボタン(D)でリセット）

ストップウォッチが動いている時は、ボタン(C)でストップ、ボタン(D)でリセット

ストップウォッチが止まっている時は、ボタン(D)でリセット

ボタン(C)を押すごとに、スタート・ストップを繰り返します。

ストップした状態でボタン(D)を押すとリセットされます。



スプリットタイムは、計測後約10秒間だけ表示します。また、10秒以内に次の計測を行った場合、ただちにその計測時間に表示が切り替わりますので、ご注意ください。

### ワールドタイムの使いかた

- 世界24都市・地域の時刻を表示します。
- 各都市ごとにサマータイム（DST）の設定ができます。

ワールドタイム機能が正しくはたらくためには、「時刻・カレンダー合わせ」で合わせる時刻に対する正しい都市の選択をする必要があります。

「時刻・カレンダーの合わせかた」をご参照ください。

ワールドタイム機能の使いかた

ボタン(A)を押してワールドタイム表示にしてください。

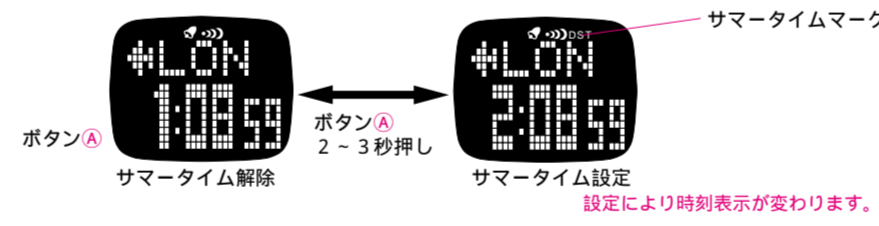
都市名と時刻を表示します。



ボタン(C)またはボタン(D)を押して、都市を選択してください。

サマータイム（DST：Daylight-saving Time）について

- 各都市ごとにサマータイム（DST）の設定変更ができます。
- ワールドタイム表示で、サマータイム（DST）の設定変更したい都市を選びます。
- ボタン(A)を2～3秒押し続けてください。
- サマータイム設定が切り替ります。「DST」マークが点灯/消灯します。
- ボタン(A)を2～3秒押すごとに「サマータイム解除」、「サマータイム設定」が選択できます。



他の都市にサマータイム設定をする場合には、「操作」から行なってください。

時刻・カレンダー合わせで設定している「都市」にサマータイム設定を変更すると、「時刻・カレンダー表示」の時刻も変わります。

実際にはサマータイムを行わない都市および地域でも、この時計では設定できますのでご注意ください。

都市名と時差について

各都市の表記とGMT（グリニッジ標準時）との時差は以下のとおりです。

都市表記	都市名	GMTとの時差	サマータイム	有
LON	ロンドン	±0		
PAR	パリ			
ROM	ローマ	+1		
BER	ベルリン			
IST	イスタンブール	+2		
MOW	モスクワ	+3		
DXB	ドバイ	+4		
KHI	カラチ	+5		
DAC	ダッカ	+6		
BKK	バンコク	+7		
BJS	北京	+8		
TYO	東京	+9		
SYD	シドニー	+10		
NOU	ヌメア	+11		
WLG	ウエリントン	+12		
HNL	ホノルル	-10		
ANC	アンカレッジ	-9		
LAX	ロサンゼルス	-8		
DEN	デンバー	-7		
CHI	シカゴ	-6		
NYC	ニューヨーク	-5		
CCS	カラカス	-4		
RIO	リオネジャネイロ	-3		
PDL	アゾレス諸島	-1		

各国の時差、およびサマータイムは国の都合により変更する場合があります

### アラームの使いかた（デイリーアラーム）

- 1日（24時間）に1回鳴るデイリーアラーム機能です。
- アラーム音の試験（サウンドデモンストレーション）ができます。
- 時報の設定ができます。

アラーム時刻の合わせかた

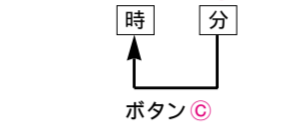
ボタン(A)を押して、アラーム表示にしてください。

ボタン(A)を2～3秒押し続けてアラーム時刻合わせにしてください。「時」桁が点滅します。



この状態で1～2分間操作をしないと自動的にアラーム表示に戻ります。

ボタン(C)を押すごとに点滅する箇所が変わります。



ボタン(D)を押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数字が一つずつ進みます。押し続けると早く進みます。

アラーム「OFF」でも、アラーム時刻を修正しようとする自動的にアラーム「ON」となり、「」マークも点灯します。

時合わせのとき、午前・午後をよく確認して下さい。午後の場合、「PM」マークが点灯します。（12時間制表示の場合のみ）

合わせ終わったらボタン(A)を押してアラーム表示に戻してください。

アラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法

アラーム表示でボタン(C)を押すごとに次の順序で設定が変わります。

アラーム「ON」、「OFF」とアラームマーク「」が点灯/消灯します。



鳴っているアラームを止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタン(A)、(B)、(C)、(D)のいずれかを押してください。

どの表示の時でも、この操作は可能です。

サウンドデモンストレーション（アラーム音の試し聴き）

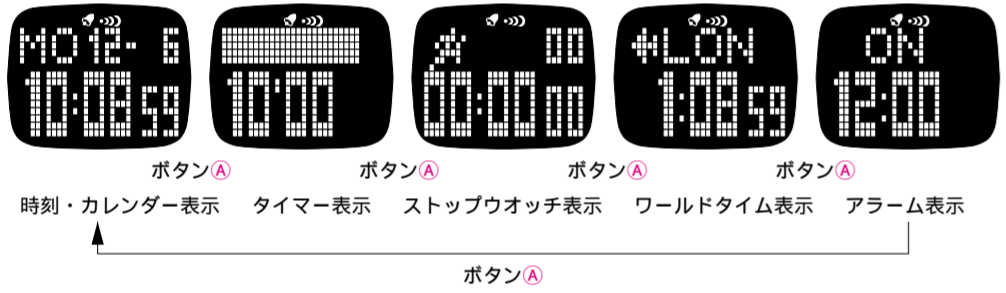
アラーム音を試し聴きたい時は、アラーム表示の時に、ボタン(C)を2～3秒間押してください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。

この操作をした後は、アラームのON/OFFと時報の設定が変わりますので「アラーム・時報の鳴る/鳴らないの設定方法」を参照して元の状態に戻してください。

### ボタンの名称と表示の切り替え



ボタン(A)を押すごとに次の順序で切り替わります。



表示を切り換えると、右から左へスクロールして表示します。

ボタン(C)を押すとELバックライトが点灯します。約3秒間の残照式です。

時刻表示の切り換え

時刻・カレンダー表示において、ボタン(C)を押すごとに下段時刻表示が「時、分、秒」「時、分」に切り替わります。

この設定は、ワールドタイム表示などにも反映されます。

デモンストレーション機能

時刻・カレンダー表示において、ボタン(D)を押すと、デモンストレーション表示になります。

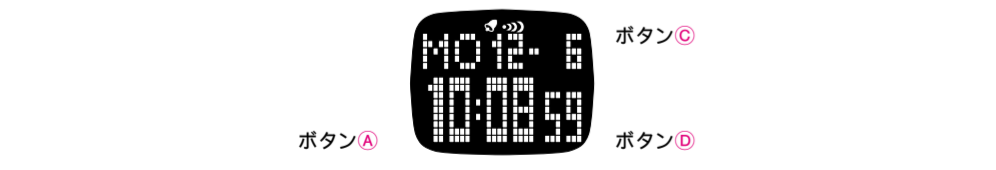
ボタン(A)、(C)、(D)のどれかを押すと、時刻カレンダー表示に戻ります。

### 時刻とカレンダーの合わせかた

この時計にはワールドタイム機能があります。時刻・カレンダーの合わせでワールドタイム時刻も設定されます。合わせる時刻に対応した都市名を選択してください。異なる設定をするとワールドタイム機能が正しくはたらくませんのでご注意ください。

ボタン(A)を押して時刻・カレンダー表示にしてください。

ボタン(A)を2～3秒間押し続けて時刻・カレンダー合わせ状態にしてください。

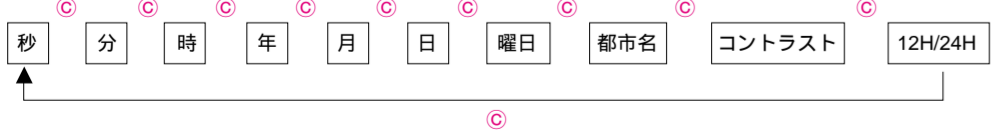


(秒表示が点滅します。)

この状態で1～2分間操作をしないと時刻・カレンダー表示に戻ります。

ボタン(C)を押して、合わせたい箇所を点滅させます。

ボタン(C)を押すたびに点滅箇所が変わります。



ボタン(D)を押すと点滅している所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。ここで設定する「都市名」は、この時計を使用される場所と同じ時差があると都市を設定してください。通常（日本国内でご使用になる場合）は、「TYO（東京）」を選択し、時刻は日本時間を合わせることになります。

「コントラスト」：液晶表示のコントラストを「0（薄い）～15（濃い）」の数値の中から選びます。

